

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. LGBT に関するパートナーシップ制度の導入について</p>	<p>(1) パートナーシップを正式に認めることは、住民への啓発になるほか、性的指向や性自認に関する施策を推進する原動力となる。誰もが安心して、住みやすい町にするためにパートナーシップ制度を早期に導入するべきだ。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 子ども医療費助成制度の見直しについて</p>	<p>(1) 国は、子ども医療費で独自の助成を行う自治体へのペナルティとも言える国庫負担の減額調整措置を一部講じないなどの見直しを行なったが、町は6年間制度の見直しを行っていない。 国庫負担の減額調整措置を講じないことで生じた財源等を活用して助成の対象年齢の引き上げを行うべきだ。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 防災減災への取り組みについて</p>	<p>(1) 地域版ハザードマップやマイタイムラインを作成することで自分や家族を守ることや地域で助け合うことなど災害への心構えを育み学ぶことができる。このような地域版ハザードマップやマイタイムラインの作成を推進するべきだ。</p> <p>(2) 倒木の恐れのある杉などの高木の枝打ちや伐採など管理体制を強化するべきだ。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 地球温暖化対策について</p>	<p>(1) 深刻さを増す地球温暖化の影響で、豪雨や勢力の強い台風の増加などによる自然災害が多発している。温暖化対策に社会の総力を挙げて取り組む決意を示す「気候非常事態宣言」をするとともに、温室効果ガスの排出を削減するための目標や政策を盛り込んだ「気候動員計画」を策定し、実施するべきだ。</p> <p>(2) プラごみ削減対策の一環としてマイボトルに給水できる給水スポットの普及を推進するべきだ。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. ハザードマップの見直しと避難対策への対応は</p>	<p>(1) 私達の住む、地球全体で地球温暖化が進んでいるのが現実である。日本もその影響で亜熱帯化になりつつあり、毎年、台風や豪雨の被害で甚大な被害が起きているが、我が大津町でも対策が必要と思うが、どうなっているか聞きたい。</p> <p>① 町内のハザードマップの見直しが必要ではないか。</p> <p>② 中小河川が多いので砂防ダムと貯水池の新設を。</p> <p>③ 町民への避難経路と時間帯などの防災意識の徹底を。</p> <p>④ 雨で聞き取りにくい、防災無線で大丈夫か。</p> <p>⑤ 新庁舎の水害対策は万全か。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 工業団地の新規の造成と企業の誘致の現状は</p>	<p>(1) 今年10月の経済建設委員会で岩手県花巻市と北上市を訪問研修した。研修を基に違いなどを聞きたい。</p> <p>① 新規の工業団地を造成する計画はあるのか。</p> <p>② 新規の企業誘致は進んでいるのか。</p> <p>③ 中核工業団地撤退企業の跡地への企業誘致はどうなっているのか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. プレミアム付き商品券の 教訓</p>	<p>(1) プレミアム付き商品券の状況と見通し。</p> <p>(2) 反省と教訓を問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 国保 命と人権にかかわ る点で改善を</p>	<p>(1) 国保税の均等割り課税、改めて子どもへの人頭割課税の改善を求める。</p> <p>(2) 人頭割課税のもとで、滞納世帯への資格証明書、短期保険証でのペナルティは町民・国民の命に係わり、健康で生きる権利、基本的人権の問題ではないか。政令指定都市の横浜市でも、資格証、短期保険証を廃止した。大津町でも見習うべきではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 地震一部損壊支援と耐震 補強工事</p>	<p>(1) 復興基金の活用をどう考えるか。熊本地震一部損壊修理費への援助など。</p> <p>(2) 耐震補強工事費の代理受領制度の改善を。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 南小学校新築・移転の件	<p>(1) 南小学校は老朽化しており、新築の時期が来ている。以前協議された際に、新築するなら現在の場所から違うところへ移転すべきだとか学校区を見直すべきだという意見が出たと聞いている。</p> <p>その後、新築の話は途切れたままである。新しい美咲野小学校を視察した。校庭は広く、新しい設備が揃っている。そこで勉強する児童たちは表情も明るい。南小学校の保護者に美咲野小学校を視察してもらい、町と教育委員会は新築に向けて協議を始めるべきである。</p>	町 長 教 育 長
2. 病児保育の重要性	<p>(2) 本来、母親は産後1年間ほどは自分で育てるべきだと言われている。しかし現実の社会は厳しい。現在の日本は経済成長率が低く、個人所得の大幅上昇は望みが薄い。生活のために自然と共働きにならざるを得ない。そこで0歳児から保育所に預けることになる。</p> <p>幼児は病気をしやすい。0歳児はさらに病気をしやすい。熱ができれば保育園から連れに来てくれと電話がかかる。病気は1日では終わらない。風邪なら兄弟にもうつる。母親は何日も会社を休むことになる。快く休みを認めてくれる会社だけではない。こういう時は、病児保育所が必要になるが病児保育所は少ない。大津町、日本各地、アメリカの現況を聞く。大津町としての対策を問う。</p>	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. ねこの避妊手術の件</p>	<p>(1) 19年前、議員になりたての私は一般質問で（ねこの避妊手術）の件を取り上げたことがある。当時はまだ機が熟せず実現しなかったが、やっと世間がいい状況になってきたように思う。さらに（広報おおづ）の7月号で記事として掲載された。 そこで今回はそれを推進する立場から町はどのような支援ができるか尋ねるものである。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 新庁舎と5G	<p>(1) 第3回まちづくり懇談会で感じたことは高齢社会による地域の過疎化、公共奉仕活動や防災活動の困難、将来不安など、人口減地域には切実な問題である。コミュニケーションの維持が重要と指摘され、メモ回覧板の設置は的を得ていて、アナログ行動をデジタル時代5Gによる高い次元の融合が必要と感じた。新庁舎と町民を時代の進化でつなげ、町民に双方向の通信技術で安心して暮らせる町としなければならない。</p>	町 長
2. 自己防衛と人格について	<p>(1) 社会問題化している各ハラスメントについて、学校教育での取り組みを問いたい。学校でのいじめ問題への取り組みが社会に出て役に立つのだろうか？パワハラを防止するための対策を企業に初めて義務づける法律が来年施行されるのを前に、厚生労働省の審議会は、パワハラにあたる事例を具体的に示した指針案をまとめたが、企業は雇用契約を企業に有利な厳しい条件としてくるだろう。</p> <p>社会において人権教育への理解は万能でなく頼りがたく守ってはくれない。ハラスメント「いやがらせ」に負けず、人格高くたくましい社会人となる為には、筋の通った戦いも時には必要となることを肝に銘じなければ未来は開けない。</p>	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 先を見て後手に回らぬ対策を</p>	<p>(1) 長期的な将来を見据えた計画や政策は当然に重要だが、少し先を見越した施策の準備を心がける必要もある。 この後に起こることを踏まえた準備は進んでいるか。</p> <p>①来年の降灰被害への対策準備は。</p> <p>②国の補正予算、経済対策への備えは。</p> <p>③他に取り組むべき視点は。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>
<p>2. 地域振興組織の導入検討が必要ではないか</p>	<p>(1) 町の南部・北部では人口減少・高齢化がさらに進み、行政区の維持、集落の維持も困難になってきている。 そうした中で地域での生活を守っていくためには、従来の行政区の枠組みを超えた地域振興組織の制度導入が必要。 「まちづくり」と「地域福祉」の課題が重なっていく状況の中、今後の「地域づくり」のための取り組みを進めないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 7 番
 通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 町としての防災意識	<p>(1) 地震や水害については、ここ数年で防災意識も高まり、地域をあげての防災訓練や個人での防災グッズの準備など意識の高まりを感じる。これから年末年始にかけて特に火災の発生が心配される。火災が発生した場合の初期消火活動は身近な地域となる。全国的な最近の事例では白川郷の火災が耳に新しい。白川郷の火災が1時間50分で消え周囲に広がらなかったのは、村民が定期的に放水訓練等を実施していたからだと言われている。そこで町としての考え方を問いたい。</p> <p>①各地域で火災が発生した場合の初期消火活動実施の可能性。</p> <p>②消火栓と消火ホース格納箱、防火水槽等の確認状況の把握。</p> <p>③地域住民への初期消火活動の必要性の啓発。</p> <p>④宅地開発時の状況確認。</p> <p>⑤子どもたちへの防災指導は。</p>	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. 大津町のスポーツに対する考え方	<p>(1) 大津町は本田技研熊本の野球やマラソンの前田選手の応援を町をあげてパブリックビューイングなどで行っている。大津町ゆかりの活躍している方々は他にも、バレーの古賀紗理那選手や大津高校サッカー部など直ぐに頭に浮かぶがこちらの応援はされていない。</p> <p>大津町教育委員会は、地域に根ざし地域に開かれた学校づくりを中心として、家庭教育と地域社会教育との連携を強化して推進を図るため「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える教育実践」を基本理念とした学校教育ビジョンを掲げている。この基本理念は2代前の那須教育長の頃から引き継がれており、大津町の宝である子どもたちを育てる上での大切な根幹だと認識している。</p> <p>であれば、大津町ゆかりの身近な選手を大津町として盛り上げようと応援することが若者の人材育成につながると思うが、町、教育委員会としてはどう考えるか。</p>	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 8 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 子ども・子育て支援制度について問う</p>	<p>(1) 10月から実施された保育・幼児教育費無償化にともない副食費が実費徴収になるが、</p> <p>①保育園等での混乱や業務量の増加はないか。</p> <p>②無償化で副食費が実費徴収され負担増になる世帯はないか。</p> <p>③保育料と副食費の逆転現象が起きないように副食費の無償化を提言する。</p>	<p>教 育 長</p>
<p>2. 持続可能なまちづくりと地域の活性化について問う</p>	<p>(1) 地方創生を深化させて、中長期を見通した持続可能なまちづくりに取り組むことが必要ではないか。人々が安心して暮らせるまちづくりの実現について問う。</p> <p>①質的拡充型のまちづくりの推進 スポーツの森新駅設置や新駅周辺の開発事業の推進を提言する。</p> <p>②快適な緑地空間の創出について問う。 ア. 防災系統緑地の充実や取り組みは。</p> <p>イ. 新庁舎周辺地域の緑地化による健康活動の場やコミュニティ醸成としての機能（オープンガーデン・市民農園者等）を利用した、地域のにぎわいの創出や、地域コミュニティの活性化について問う。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 消費税増税について問う</p>	<p>(1) 貧困や格差の拡大を生む逆累進性の高い消費税増税により、本町の財政状況に あたえる影響は大きいと思うが現状と町民負担軽減策は。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 多様な繋がり場の創出	<p>(1) 町の人口は3万5千人を突破し、これまで大津町に所縁のなかった住民も多くなり、地域との関係が希薄な層も増加傾向にある。そうした方々に町や住民との結節点を提供し、この地でより一層充実した生活を送っていただきながら、町への愛着を深めてもらうことは共助・協働のまちづくりにおいて重要である。また、新旧にかかわらず、人生100年時代を迎えて定年した元気な高齢者が増えている。そうした方々にとっても生涯学習やボランティア、運動を通じた学びや楽しみ、さらに交流や外出は、暮らしの一層の充実や健康に繋がるものである。</p> <p>最も基礎的な繋がりには自治会などの地元コミュニティであることは前提であるが、受け皿の一つとして趣味などで繋がったコミュニティづくりを併せて推進し、重層的に張り巡らす発想も必要である。町に様々なコミュニティが溢れることで、地域を超えた一つの繋がりが新たな繋がりを生み、結果として地元コミュニティへの参画、あるいは多様な地域活動への入り口になることも期待できる。</p> <p>以上を踏まえ、次の項目について町の考えを問う。</p> <p>①生涯学習講座等の”場”の更なる充実（メニュー/時間/場所）</p> <p>②自主講座移行分や町の諸団体等も含めたHPによる情報提供（プラットフォームづくり）</p> <p>③町広報紙での特集などを通じた更なるPR</p> <p>④既存コミュニティの支援</p>	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 電子版地域通貨導入による地域活性および税収増</p>	<p>(1) 地域通貨とは「限られた特定の地域内だけで利用できる通貨」のことであり、ここでは大津町内の店舗等で限定して使うことのできる地域通貨を想定している。また、電子版とは追加入金も可能なスマートフォンやカードを用いた通貨を指す。</p> <p>導入の主な目的・用途としては優先度順に、①ふるさと納税増加による町税収入向上と寄付者への還元、②地域通貨流通および関係人口拡大・深化による町内経済の活性化、③現行の「水水ポイント」の機能強化と基盤一元化、④国主導のマイナポイント導入に向けた受け皿づくり、の4点である。これらはすべて統一基盤で実現可能であり、最小の経費・負担で大きな効果が期待できる。以上を踏まえ、次の項目について町長の考えを問う。</p> <p>①ふるさと納税の返礼品メニューに電子版地域通貨（電子感謝券）を加え、企業連絡協議会等のネットワークを通して単身赴任者や通勤者、さらに、その他の様々な繋がりを駆使して多くの交流・関係人口層を対象に広報することで、税収を増やす取り組みをおこなう考えはないか。</p> <p>②活用・認知度が伸び悩む町独自の「水水ポイント」の代替として、統一規格の地域通貨を導入する考えはないか。ポイントの魅力が向上することで、地域活動や健康づくりを促す「インセンティブ効果」の向上が期待でき、地域経済活性も望める。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 増加する鳥獣への総合的かつ重層的な対策</p>	<p>(1) 山林の開発や、駆除を担う方々の減少など様々な要因によって、イノシシをはじめ町内で所謂「害獣」の目撃情報が増加している。田畑を食い荒らすシカやイノシシの増加は農家にとって死活問題であるのはもちろん、人を襲うことによる直接的な被害および日々の不安、交通事故、さらに耕作意欲減退による農地の荒廃などの様々な事態に繋がる可能性をはらんでおり、決して農家だけの問題ではない。</p> <p>当然、さらなる予算は伴うが国の助成も活用して ICT などの先進技術も取り入れながら、①人の住まう集落に寄せ付けない、②田畑への侵入を防止する、③個体数を減らす、という3つの観点からの総合的かつ重層的な計画立てた対策が必要だと考える。</p> <p>以上を踏まえ、町長の考えを問う。</p> <p>①モデル地区や助成枠を設けながら、新型の罟や電気牧柵などを試行する考えはないか。</p> <p>②減少傾向にある駆除者への支援、および新たな駆除者の育成に向けて、免許取得や機材購入・メンテナンス、訓練などの様々なコストも踏まえたうえで、各種助成や報奨金の見直しをする考えはないか。</p> <p>③広報や現地指導などを通じた、無意識の餌付け解消、サルやカラス等を含めた対処対策法、適切な護柵設置法の普及啓発</p>	<p>町 長</p>